



令和6年度介護支援専門員 専門研修課程Ⅱオリエンテーション

**KA
CM**

鹿児島県介護支援専門員協議会

①受講手順・留意事項一覧(今後の受講の流れ・留意事項)

R6年度専門研修課程Ⅱ受講手順		鹿児島県介護支援専門員協議会	
期日	科目	受講手順	
A日程 8月19日～9月9日 B日程 9月25日～10月16日	動画視聴	動画No.1 介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開 動画No.2 ケアマネジメントの実践における倫理 動画No.3 リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解	A日程:8月19日 B日程9月～日から講義動画を配信します。 A日程:8/19～9/9 B日程9/25から10/16の期間内に左記の5科目を視聴完了後の展開 *ホームページ掲載「動画配信受講マニュアル」を参照 県協議会ホームページ▶法定研修関連▶動画配信受講マニュアル ※ 視聴が終わったら必ず「視聴完了」をクリックする。
		動画No.4 ①生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	動画No.4を視聴完了後、事例発表に該当していない2事例のうちどちらかの1事例について、自己点検シートに記入しながら点検をする(事前学習)
	事前学習	①自己点検シート	
	動画視聴	動画No.5 ②脳血管疾患のある方のケアマネジメント	動画No.5を視聴完了後、自分がこれまでに担当した脳血管疾患のある方の事例について自己点検シート(1期、Ⅱ期どちらかひとつ)に記入しながら点検をする。(事前学習) 左記5科目の動画視聴、自己点検シートを使って事前学習をおこない演習に進める。
事前学習	②自己点検シート		
A日程 9月10日 B日程 10月17日	演習(ズーム)	①生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント ②脳血管疾患のある方のケアマネジメント	事例発表者はケアプラン等(開催要綱事例について②～⑥)を手元に準備し、作成した提出事例様式1をパソコンに開いてからズームに入室する。名前の表記は「G番号 個人名のフルネーム」(1介護太郎) *ホームページ掲載「ズーム受講マニュアル」を参照 県協議会ホームページ▶法定研修関連▶ズーム受講マニュアル テキスト類・左記科目の事前学習した点検シート・演習シートを準備しズームに入室する。
A日程 9月10日～9月16日 B日程 10月17日～10月23日		動画視聴	動画No.6 ③認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント
事前学習	③自己点検シート		
動画視聴	動画No.7 ④大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	動画No.7を視聴完了後、自分がこれまでに担当した大腿骨頸部骨折のある方の事例について自己点検シート(1期、Ⅱ期どちらかひとつ)に記入しながら点検をする(事前学習) 左記2科目の動画視聴、自己点検シートを使って事前学習をおこない演習に進める	
事前学習	④自己点検シート		
A日程 9月17日 B日程 10月24日	演習(ズーム)	③認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント ④大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	テキスト類・左記科目の自己学習したケアマネジメント点検シート・演習シートを準備しズームに入室する。 事例報告者は提出したケアプラン等を手元に準備し、作成した提出事例様式1をパソコンに開いてからズームに入室する。
A日程 9月17日～9月23日 B日程 10月24日～10月30日		動画視聴	動画No.8 ⑤心疾患のある方のケアマネジメント
事前学習	⑤自己点検シート		
動画視聴	動画No.9 ⑥脳神経性肺炎の予防のケアマネジメント	動画No.9を視聴完了後、自分がこれまでに担当した脳神経性肺炎の予防の事例について自己点検シートに記入しながら点検をする(事前学習) 左記2科目の動画視聴、自己点検シートを使って事前学習をおこない演習を得	
事前学習	⑥自己点検シート		
A日程 9月24日 B日程 10月31日	演習(ズーム)	⑤心疾患のある方のケアマネジメント ⑥脳神経性肺炎予防のケアマネジメント	テキスト類・左記科目の自己学習したケアマネジメント点検シート・演習シートを準備しズームに入室する。 事例報告者は提出したケアプラン等を手元に準備し、作成した提出事例様式1をパソコンに開いてからズームに入室する。
A日程 9月24日～9月30日 B日程 10月31日～11月6日		動画視聴	動画No.10 ⑦看取り等における看護サービスの活用に関する事例
事前学習	⑦自己点検シート		
動画視聴	動画No.11 ⑧家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	動画No.11を視聴完了後、自分がこれまでに担当した家族支援・社会資源の活用の事例について自己点検シートに記入しながら点検をする(事前学習) 左記2科目の動画視聴、自己点検シートを使って事前学習をおこない演習を得	
事前学習	⑧自己点検シート		
A日程 10月1日 B日程 11月7日	演習(ズーム)	⑦看取り等における看護サービスの活用に関する事例 ⑧家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	テキスト類・左記科目の自己学習したケアマネジメント点検シート・演習シートを準備しズームに入室する。 事例報告者は提出したケアプラン等を手元に準備し、作成した提出事例様式1をパソコンに開いてからズームに入室する。

留意事項一覧		鹿児島県介護支援専門員協議会
動画配信	1. 動画配信については、動画配信受講マニュアルをよく読んで手順に従ってください。 県協議会ホームページ▶法定研修関連▶動画配信受講マニュアル 動画配信受講マニュアルはこちら	
	2. 動画配信は早送りはできません。一時停止はできますが、一時停止している間にネット環境や機材トラブルなどで途切れてしまった場合は、最初からの再生になりますのでお気をつけください。 3. 動画資料が終わったら、必ず「視聴完了」ボタンをクリックしてください。視聴完了をクリックして登録をしないと完了となりません。 4. 該当科目の動画配信に期間内に視聴完了しないと演習には参加できません。	
事前学習	6. 第4章「ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表」につきましては、演習が始まる前までに該当科目の動画視聴をした後、 自分がこれまでに担当したことのある該当科目の事例 について、自己点検シートの記載をしてください。(事前学習となります) 注! 4章-1(動画No.3)「生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント」は提出した事例3事例のうち事例発表に該当しない2事例のどちらかについて自己点検シートの記載をする 注! 事例発表に該当する科目については、発表する提出事例を自己点検シートの記載をする	
オンライン演習(ズーム)	7. ズームの操作方法や受講環境などにつきましては、ズーム受講マニュアルをよく読んで参考にしてください。 県協議会ホームページ▶法定研修関連▶ズーム受講マニュアル ズーム受講マニュアルはこちら	
	8. ズームでの演習はチャットや画面共有の操作が必要になる場合があります。 9. 名前は「グループ番号 個人名フルネーム」(例:1介護太郎)と表記してください。 10. 音声はミュート、ビデオカメラはオンでお待ちください。ビデオカメラはオンの状態で受講が確認されないときは受講が認められない場合があります。 また、オンの状態でも、カメラに顔や姿が見えないなど受講状況が確認できない場合も同様です。カメラの角度や設置箇所の調整を行ってください。	
演習(ズーム)	11. 演習はブレイクアウトルームに分かれてグループワークをします。個室や静かな環境での受講が望ましいです。周辺の音が入り込まないようにヘッドホンマイクの使用や環境整備の配慮をしてください。また、個人情報の取り扱いの観点から、事業所内の掲示物等の映り込みにも留意してください。	
	12. ズーム演習は、画面共有などの操作が必要なためパソコンでの受講を原則としておりますが、ネット環境や機材のトラブル時は一時的にスマートフォン等での受講を認める場合もあります。緊急時に備えてスマートフォンへズームアプリのインストールをお勧めします。 トラブル時の対応や備えに関しては各自でご確認ください。	
受講管理システム	13. ケアマネジメントの演習は、事前学習した自己点検シート、演習シート、テキスト類を準備ください。事例報告者は、アセスメント、サービス計画書、担当者会議の要点、支援経過記録、モニタリングまたは評価表等を手元に準備してください。また、画面共有を行うため、作成した様式1のデータをパソコンに開いてからズームに入室をするとスムーズです。	
	14. 受講管理システム・マイページの情報登録が不完全な方が多くみられます。当協会会員の方は最新情報へ更新を、新しく登録をされた方は所属事業所情報、メールアドレスに未記入や誤入力の有無をご確認の上、入力を完了させてください。 未記入や誤入力がありますと、今後、事業所への連絡、メールでのお知らせが届きません。	

令和6年度 専門研修課程Ⅱ 自己点検シート（事前学習）について

「第4章 ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表」の科目について動画配信を視聴完了後、自己点検シートにて事前学習をしていただきます。演習受講は、該当科目の動画視聴と自己点検シートでの事前学習の完了が必須となります。以下、自己点検シートでの事前学習を行う際の注意事項をよくお読みください。

【注意事項】

- 必ず該当科目の動画視聴を完了してから演習開始までに取り組んでください。
- 「第4章-1（動画No.4）生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント」で自己点検する事例について、提出した事例3つのうち、事例発表に該当する2事例のどちらかひとつを選んで自己点検してください。
- 「第4-2（動画No.5）～4章-8（動画No.11）」で自己点検する事例について、これまでの実務の中で担当したことのある該当科目の事例を自己点検してください（提出事例に限りません）。
これまでに該当科目の担当がどうしてもないなどの事情等があるときは、等々ご相談ください。
- 事例発表に該当している科目については、発表する事例を自己点検してください。
- 第4章-2（動画No.5）脳血管疾患・第4章-4（動画No.7）大腿骨頭部骨折・-5（動画No.8）心疾患については、利用者の状態や経過の時期によりⅠ期、Ⅱ期、Ⅲ期と異なります。動画での講義内容とテキストなどを参考に、Ⅰ期、Ⅱ期どちらか一つを選択してください。

脳血管疾患：テキストP162～166
 大腿骨頭部骨折：テキストP216～220
 心疾患：テキストP237～244

※自己点検シートは、適切なケアマネジメント手法に基づいています。適切なマネジメント手法については、下記URLにて詳しく解説している「ケアのダウンロードや動画を観ることが出来ます。参考にしてください。

日本総研・「適切なケアマネジメント手法」に関連する事業
[\(https://www.jri.co.jp/service/special/content/11/corner/113/carement/04/\)](https://www.jri.co.jp/service/special/content/11/corner/113/carement/04/)

生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント

自己点検シート（基本ケア）

【演習用ケアマネジメント単元】基本ケアの演習				【1】ケアプラン作成時の判断			【2】発表（演習用発表）の判断		
演習内容	大項目	中項目	演習内容	1. 演習内容			2. 演習内容		
				1. ケアプラン作成時の判断	2. ケアプラン作成時の判断	3. ケアプラン作成時の判断	1. 発表内容	2. 発表内容	3. 発表内容
1 演習内容	2 大項目	3 中項目	4 演習内容	5 1. ケアプラン作成時の判断	6 2. ケアプラン作成時の判断	7 3. ケアプラン作成時の判断	8 1. 発表内容	9 2. 発表内容	10 3. 発表内容
5 1-1-1 生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメントの事例	6 1-1-1 生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメントの事例	7 1-1-1 生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメントの事例	8 1-1-1 生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメントの事例	9 1-1-1 生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメントの事例	10 1-1-1 生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメントの事例	11 1-1-1 生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメントの事例	12 1-1-1 生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメントの事例	13 1-1-1 生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメントの事例	14 1-1-1 生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメントの事例
9 1-1-2 演習内容	10 1-1-2 演習内容	11 1-1-2 演習内容	12 1-1-2 演習内容	13 1-1-2 演習内容	14 1-1-2 演習内容	15 1-1-2 演習内容	16 1-1-2 演習内容	17 1-1-2 演習内容	18 1-1-2 演習内容
13 1-1-3 演習内容	14 1-1-3 演習内容	15 1-1-3 演習内容	16 1-1-3 演習内容	17 1-1-3 演習内容	18 1-1-3 演習内容	19 1-1-3 演習内容	20 1-1-3 演習内容	21 1-1-3 演習内容	22 1-1-3 演習内容
17 1-1-4 演習内容	18 1-1-4 演習内容	19 1-1-4 演習内容	20 1-1-4 演習内容	21 1-1-4 演習内容	22 1-1-4 演習内容	23 1-1-4 演習内容	24 1-1-4 演習内容	25 1-1-4 演習内容	26 1-1-4 演習内容
21 1-2 演習内容	22 1-2 演習内容	23 1-2 演習内容	24 1-2 演習内容	25 1-2 演習内容	26 1-2 演習内容	27 1-2 演習内容	28 1-2 演習内容	29 1-2 演習内容	30 1-2 演習内容
25 1-2-1 演習内容	26 1-2-1 演習内容	27 1-2-1 演習内容	28 1-2-1 演習内容	29 1-2-1 演習内容	30 1-2-1 演習内容	31 1-2-1 演習内容	32 1-2-1 演習内容	33 1-2-1 演習内容	34 1-2-1 演習内容
29 1-2-2 演習内容	30 1-2-2 演習内容	31 1-2-2 演習内容	32 1-2-2 演習内容	33 1-2-2 演習内容	34 1-2-2 演習内容	35 1-2-2 演習内容	36 1-2-2 演習内容	37 1-2-2 演習内容	38 1-2-2 演習内容
33 1-2-3 演習内容	34 1-2-3 演習内容	35 1-2-3 演習内容	36 1-2-3 演習内容	37 1-2-3 演習内容	38 1-2-3 演習内容	39 1-2-3 演習内容	40 1-2-3 演習内容	41 1-2-3 演習内容	42 1-2-3 演習内容
37 1-2-4 演習内容	38 1-2-4 演習内容	39 1-2-4 演習内容	40 1-2-4 演習内容	41 1-2-4 演習内容	42 1-2-4 演習内容	43 1-2-4 演習内容	44 1-2-4 演習内容	45 1-2-4 演習内容	46 1-2-4 演習内容
41 1-3 演習内容	42 1-3 演習内容	43 1-3 演習内容	44 1-3 演習内容	45 1-3 演習内容	46 1-3 演習内容	47 1-3 演習内容	48 1-3 演習内容	49 1-3 演習内容	50 1-3 演習内容
45 1-3-1 演習内容	46 1-3-1 演習内容	47 1-3-1 演習内容	48 1-3-1 演習内容	49 1-3-1 演習内容	50 1-3-1 演習内容	51 1-3-1 演習内容	52 1-3-1 演習内容	53 1-3-1 演習内容	54 1-3-1 演習内容
49 1-3-2 演習内容	50 1-3-2 演習内容	51 1-3-2 演習内容	52 1-3-2 演習内容	53 1-3-2 演習内容	54 1-3-2 演習内容	55 1-3-2 演習内容	56 1-3-2 演習内容	57 1-3-2 演習内容	58 1-3-2 演習内容
53 1-3-3 演習内容	54 1-3-3 演習内容	55 1-3-3 演習内容	56 1-3-3 演習内容	57 1-3-3 演習内容	58 1-3-3 演習内容	59 1-3-3 演習内容	60 1-3-3 演習内容	61 1-3-3 演習内容	62 1-3-3 演習内容
57 1-3-4 演習内容	58 1-3-4 演習内容	59 1-3-4 演習内容	60 1-3-4 演習内容	61 1-3-4 演習内容	62 1-3-4 演習内容	63 1-3-4 演習内容	64 1-3-4 演習内容	65 1-3-4 演習内容	66 1-3-4 演習内容
61 1-4 演習内容	62 1-4 演習内容	63 1-4 演習内容	64 1-4 演習内容	65 1-4 演習内容	66 1-4 演習内容	67 1-4 演習内容	68 1-4 演習内容	69 1-4 演習内容	70 1-4 演習内容
65 1-4-1 演習内容	66 1-4-1 演習内容	67 1-4-1 演習内容	68 1-4-1 演習内容	69 1-4-1 演習内容	70 1-4-1 演習内容	71 1-4-1 演習内容	72 1-4-1 演習内容	73 1-4-1 演習内容	74 1-4-1 演習内容
69 1-4-2 演習内容	70 1-4-2 演習内容	71 1-4-2 演習内容	72 1-4-2 演習内容	73 1-4-2 演習内容	74 1-4-2 演習内容	75 1-4-2 演習内容	76 1-4-2 演習内容	77 1-4-2 演習内容	78 1-4-2 演習内容
73 1-4-3 演習内容	74 1-4-3 演習内容	75 1-4-3 演習内容	76 1-4-3 演習内容	77 1-4-3 演習内容	78 1-4-3 演習内容	79 1-4-3 演習内容	80 1-4-3 演習内容	81 1-4-3 演習内容	82 1-4-3 演習内容
77 1-4-4 演習内容	78 1-4-4 演習内容	79 1-4-4 演習内容	80 1-4-4 演習内容	81 1-4-4 演習内容	82 1-4-4 演習内容	83 1-4-4 演習内容	84 1-4-4 演習内容	85 1-4-4 演習内容	86 1-4-4 演習内容
81 1-5 演習内容	82 1-5 演習内容	83 1-5 演習内容	84 1-5 演習内容	85 1-5 演習内容	86 1-5 演習内容	87 1-5 演習内容	88 1-5 演習内容	89 1-5 演習内容	90 1-5 演習内容
85 1-5-1 演習内容	86 1-5-1 演習内容	87 1-5-1 演習内容	88 1-5-1 演習内容	89 1-5-1 演習内容	90 1-5-1 演習内容	91 1-5-1 演習内容	92 1-5-1 演習内容	93 1-5-1 演習内容	94 1-5-1 演習内容
89 1-5-2 演習内容	90 1-5-2 演習内容	91 1-5-2 演習内容	92 1-5-2 演習内容	93 1-5-2 演習内容	94 1-5-2 演習内容	95 1-5-2 演習内容	96 1-5-2 演習内容	97 1-5-2 演習内容	98 1-5-2 演習内容
93 1-5-3 演習内容	94 1-5-3 演習内容	95 1-5-3 演習内容	96 1-5-3 演習内容	97 1-5-3 演習内容	98 1-5-3 演習内容	99 1-5-3 演習内容	100 1-5-3 演習内容	101 1-5-3 演習内容	102 1-5-3 演習内容

②・自己点検シート説明文書
 ・自己点検シート(各科目)

事前学習(宿題)

項目一覧（看取り等のおける看護サービスの活用に関するケアマネジメント）

※専門研修ⅡテキストP291、292「支援を行う上での重要な視点」を参考に基本ケア項目一覧から抜粋及び編集

③項目一覧

（看取り・家族への支援社会資源）

「適切なケアマネジメント手法」看取り等における看護サービスの活用に関するケアマネジメント				適切な支援内容とするための関連するアセスメント/モニタリング項目等			
想定される支援内容				看取り等における看護サービスの活用に関するケアマネジメントで特に重要な視点の項目	アセスメント項目	モニタリング項目	相談すべき専門職
基本方針	大項目	中項目	想定される支援内容				
I 尊厳を重視した意思決定の支援	I-1現在の全体象の把握と生活上の将来予測、備え	I-1-1 疾病や心身状態の理解	1 疾患管理の理解の支援	・ 疾患の情報を医療機関や家族から正確に把握できているか ・ ターミナル期であることの確認 ・ 本人の意向や告知の有無、家族の意向の把握	○	○	医師・看護師 薬剤師・歯科医師 歯科衛生士 OT/PT/ST 管理栄養士 介護職
			2 併存疾患の把握の支援				
			3 口腔内の異常の早期発見と歯科受診機会の確保				
			4 転倒・骨折のリスクや経緯の確認				
	I-1-2 現在の生活の全体象の把握	5 望む生活・暮らしの意向の把握	・ 今までの生活習慣や生活歴の把握 ・ 療養時の生活習慣と生活環境の把握	○	○	医師・看護師 薬剤師・歯科医師 歯科衛生士 OT/PT/ST 管理栄養士 介護職	
		6 一週間の生活リズムとその変化を把握することの支援					
		7 食事及び栄養の状態の確認					
		8 水分摂取状況の把握の支援					
	I-1-3 目指す生活を踏まえたリスクの予想	I-1-3	11 口腔内及び摂食嚥下機能のリスクの予測	・ 在宅 ・ 本人 ・ 生	○	○	
			12 転倒などの体に不可のかかるリスクの予測				
I-2意思決定過程の支援	I-2-1 本人の意思を捉える支援	I-2-1	13 感染症の早期発見と治療	・ 在宅 ・ 急 ・ 本人 ・ 本	○	○	行政、包括、民生委員、自治会、在宅福祉アドバイザー等
			14 緊急時の対応				
			15 本人の意思を捉えるためのエピソード等の把握				
I-2意思決定過程の支援	I-2-2 意思の表明の支援と尊重	I-2-2	16 日常生活における意向の尊重	・ 本人 ・ 急 ・ 意 ・ 本人 ・ 限 ・ 意	○	○	行政、包括、民生委員、自治会、在宅福祉アドバイザー等
			17 意思決定支援の必要性の理解				
			18 意思決定支援体制の整備				
I-2意思決定過程の支援	I-2-3 意思決定支援体制の整備	I-2-3	19 日常生活における意向の尊重	・ 本人 ・ 急 ・ 意 ・ 本人 ・ 限 ・ 意	○	○	行政、包括、民生委員、自治会、在宅福祉アドバイザー等
			20 意思決定支援の必要性の理解				
			21 意思決定支援体制の整備				

項目一覧（家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のマネジメント）

※テキストP319-320の「支援を行う上での重要な視点」を参考に作成した独自項目となります

「適切なケアマネジメント手法」				適切な支援内容とするための関連するアセスメント/モニタリング項目等				
大項目	中項目	小項目	想定される支援内容	家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメントで特に重要な視点の項目	アセスメント項目	モニタリング項目	相談すべき機関・専門職	
1 家族等への支援	1-1 家族等への支援	1-1-1 家族等への支援の視点	1 家族等を取り巻く環境の把握	・ 同居・別居を問わず、介護に関わる家族等の健康状況や生活状況を把握する ・ 家族等の介護に関わる役割の把握と介護負担の状況についての把握する ・ 介護支援専門員として、家族等への支援の必要性やどのように家族等と関わるかについて理解する	○	○	行政、包括、民生委員、自治会、在宅福祉アドバイザー等	
			2 家族等に対する支援の必要性の把握					
			3 家族等支援における介護支援専門員の役割や留意事項の理解					
2 社会資源や他法他制度の理解と活用	2-1 社会資源活用	2-1-1 社会資源活用の視点	4 インフォーマルサポートを含む複数の社会資源を組み合わせるケアマネジメント	・ 家族等を支援者として調整することに加え、地域の社会資源を把握し、利用者や家族に情報提供し調整を試みる ・ 難病（特定疾患）の理解 ・ 難病者への支援制度の理解（医療費助成制度、障害者総合支援法など） ・ 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律の理解 ・ 高齢者虐待の発生状況と対応策・支援策 ・ その他の虐待防止関連法等の理解	○	○	包括、社協、生活支援コーディネーター、保健センター、介護事業所	
			5 難病（特定疾患）の理解 ⇒難病（特定疾患）者への支援制度の利用の支援					
			6 高齢者虐待防止関連施策の理解 ⇒高齢者虐待防止関連施策の利用の支援					
	2-2 関連する他法他制度の内容や動向	2-2-1 難病施策	2-2-2 高齢者虐待防止関連施策	7 難病（特定疾患）の理解 ⇒難病（特定疾患）者への支援制度の利用の支援	・ 難病（特定疾患）の理解 ・ 難病者への支援制度の理解（医療費助成制度、障害者総合支援法など） ・ 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律の理解 ・ 高齢者虐待の発生状況と対応策・支援策 ・ その他の虐待防止関連法等の理解	○	○	保健所、行政、医療機関（医師・看護師、PT・OT・ST）、訪問看護 保健所、行政 行政、包括 行政、包括、警察署、保健所、民生委員、医療機関、居宅、介護事業所
				8 高齢者虐待防止関連施策の理解 ⇒高齢者虐待防止関連施策の利用の支援				
				9 難病（特定疾患）の理解 ⇒難病（特定疾患）者への支援制度の利用の支援				
2-2-3 障害者施策	2-2-3 障害者施策	2-2-3 障害者施策	7 障害者総合支援法の理解 ⇒障害者総合支援法の利用の支援	・ 障害者総合支援法の理解 ・ 障害福祉サービスの理解（介護給付、訓練等給付、自立支援医療、地域相談支援給付、計画相談支援給付、補装具、地域生活支援事業など） ・ 相談支援専門員との連携	○	○	行政、基幹、相談支援事業所 行政、基幹、相談支援事業所、医療機関、福祉用具事業所 基幹、相談支援事業所、障害福祉事業所	
			8 高齢者虐待防止関連施策の理解 ⇒高齢者虐待防止関連施策の利用の支援					
			9 難病（特定疾患）の理解 ⇒難病（特定疾患）者への支援制度の利用の支援					

看取り・家族への支援社会資源の演習時使用

演習シート 演習で使用

- ・生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント(1枚)
- ・他科目 1枚ずつ7科目分

生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント演習シート		専門研修Ⅱ
氏名		
個人ワーク (5分)		
事例概要		
自己点検シート(基本ケア)を活用して振り返り		
①抜けていた視点・漏れていた支援内容など、できていなかった項目		
②抜け漏れが起きた原因や要因		
*発表時間は1人3分程度です。事例概要⇒抜け漏れ項目⇒抜け漏れの原因や要因		
③発表して、発表を聞きながら新たな気づき(新たな視点・想定すべき支援内容など)発表を聞きながら記入		
④ケアマネジメントの質が向上するために、どのような『かかわり』やどのような『連携・協働』が本来あるべき姿をなのか、想像し言語化する。個人ワーク(5分)GW(20分)		
利用者や家族とのかかわりについて	専門職との連携や協働について	
⑤その為に介護支援専門員が今後取り組むこと個人ワーク		

ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表演習シート (専門研修Ⅱ)		
科目名	脳血管疾患のある方のケアマネジメント	氏名
演習① 事前学習した自己点検をもとに、自己のケアマネジメントを振り返って気が付いたこと		
演習②-1 発表事例の概要		
演習②-2 事例発表者の漏んだ「想定される支援内容」	(例：1-1-1-1)	
演習③ 抜け漏れが起きていた背景や要因		
演習④ 今後の展開・取り組むべきことの検討		
演習⑤ 当該領域の共通課題・地域課題		

○A日程は7月下旬・B日程は8月上旬にテキスト類、オンライン研修についての案内文書を勤め先に送付しました○

令和6年度専門研修Ⅱオンライン研修について **(A日程)**

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。←
さて、標記の件につきまして、使用する資料とテキスト（購入希望者のみ）をお送りいたしますのでご確認ください。←
また、研修の詳細を下記の通りお知らせいたしますので、重ねてご確認くださいませよう、お願いいたします。←

記←

【受講日程及び事例発表について】←
貴殿は **A日程** となります。グループ編成の関係で日程の変更はできません。←
演習での事例発表は下記の通りです。←

「大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント」←

【ID・パスワードについて】←
日程はカリキュラムを各自ご確認ください、開始15分前までには必ず「グループ番号+個人名」で入室していただきますよう、よろしくお願いいたします。←
氏名の前の数字がグループ番号となります。入力されないと演習に参加できません。←

Zoom 演習・テスト用	
ID	974 2890 8403
参加者名	1 鹿児島 太郎
パスワード	899649

日程

発表する事例

グループ番号

R6年度専門研修課程Ⅱ 受講手順

鹿児島県介護支援専門員協議会

期日	科目		受講手順
<p>A日程 8月19日～9月9日</p>	<p>動画視聴</p>	<p>動画No.1 介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開</p>	<p>A日程:8月19日 B日程9月25日から講義動画を配信します。 A日程:8/19～9/9 B日程9/25から10/16の期間内に左記の5科目を視聴完了する。 ★ホームページ掲載「動画配信受講マニュアル」を参照 県協議会ホームページ▶法定研修関連▶動画配信受講マニュアル ※ <u>視聴が終わったら必ず「視聴完了」をクリックする。</u></p>
<p>B日程 9月25日～10月16日</p>		<p>動画No.2 ケアマネジメントの実践における倫理</p>	
<p>動画視聴</p>		<p>動画No.3 リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解</p>	
<p>動画視聴</p>	<p>動画No.4 ①生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント</p>	<p>①自己点検シート</p>	<p>動画No.4を視聴完了後、事例発表に該当していない2事例のうちどちらかの1事例について、自己点検シートに記入しながら点検をする(事前学習)</p>
<p>事前学習</p>	<p>動画No.5 ②脳血管疾患のある方のケアマネジメント</p>	<p>②自己点検シート</p>	<p>動画No.5を視聴完了後、自分がこれまでに担当した脳血管疾患のある方の事例について自己点検シート(Ⅰ期・Ⅱ期どちらかひとつ)に記入をしながら点検をする。(事前学習) 左記5科目の動画視聴、自己点検シートを使って事前学習をおこない演習に備える。</p>
<p>事前学習</p>	<p>演習(ズーム)</p>	<p>①生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント</p>	<p>事例発表者はケアプラン等(開催要綱事例について②～⑥)を手元に準備し、作成した提出事例様式1をパソコンに開いてからズームに入室する。名前の表記は「G番号 個人名のフルネーム」(1介護太郎) ★ホームページ掲載「ズーム受講マニュアル」を参照 県協議会ホームページ▶法定研修関連▶ズーム受講マニュアル</p>
<p>A日程 9月10日</p> <p>B日程 10月17日</p>	<p>演習(ズーム)</p>	<p>②脳血管疾患のある方のケアマネジメント</p>	<p>テキスト類・左記科目の事前学習した点検シート・演習シートを準備しズームに入室する。</p>

ログイン画面1



https://www.jcma.or.jp

一般社団法人
日本介護支援専門員協会
JCMA Japan Care Manager Association

サイト内検索

文字の大きさ 大 小

HOME お知らせ 協会について

会員専用 Myページ

「ログイン」
「新規入会申込」
「受講管理・動画配信システムの利用登録」
もこちらから

「会員専用 My ページへのログイン」
「新規入会申込」
「受講管理システムの利用登録」は
こちらから

一般社団法人
日本介護支援専門員協会
JCMA Japan Care Manager Association

サイト内検索

文字の大きさ 大 小

HOME お知らせ 協会について

Myページ

HOME > Myページ
Myページの閲覧にはログインが必要です。

ログイン

アンケート

新規会員
募集中!

ログイン

HOME > ログイン

会員番号をお持ちの方のログイン

会員番号(ログインID)

パスワード

ログイン状態を保存する ログイン

パスワードをお忘れですか？

日本介護支援専門員協会HPより「会員専用Myページ」へ移動し
支給されたIDとパスワードを入力してログインします。

ログイン画面2



会員専用Myページへログイン後、「研修受講中」欄から動画を視聴する研修（専門研修課程Ⅱ）を選択します。

ログイン画面3



HOME お知らせ 協会について ログアウト

研修受講申込

HOME > Myページ > 研修受講申込

研修会名	日本協会法定研修テスト
研修内容	日本協会法定研修テスト
会場	東京都千代田区神田金子ビル
申込期間	令和06年2月26日～令和06年2月29日
日程	令和06年3月13日11:00～令和06年4月10日16:00
会員受講料(税込)	0円 (本体価格0円)
非会員受講料(税込)	0円 (本体価格0円)

申込 申込取消 受講票出力 [<研修動画配信システムはこちら>](#)

アンケート

会員専用 Myページ

操作に関するお問い合わせ

3訂/介護支援専門員 研修テキスト

[<研修動画配信システムはこちら>](#) をクリックすると、動画配信システムに移動します。

法定研修動画視聴



配信内容

研修種類	法定研修
課程	03 専門研修課程 II
研修名での絞り込み	<input type="text" value="研修名を入力してください"/> <input type="button" value="絞り込み"/>

研修種類で「法定研修」を選択し、「03専門研修課程II」を選択します。

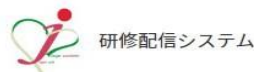
No.	専門研修課程 II		動画	視聴状況
	科目	科目名		
1	03-1	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開	視聴	未視聴(0/0)
2	03-2	ケアマネジメントの実践における倫理	視聴	未視聴(0/0)
3	03-3	リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解	視聴	未視聴(0/0)
4	03-4-1	ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表（1）生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	視聴	未視聴(0/0)
5	03-4-2	ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表（2）脳血管疾患のある方のケアマネジメント	視聴	未視聴(0/0)

クリックして動画を視聴

動画が再生可能な状態な科目はボタンがアクティブになります。（赤くなる）
 動画が登録されていない場合や、受講者として登録されていない、視聴期間切れなどの場合、ボタンが非アクティブな状態になります。（画像は非アクティブな状態）



動画視聴



動画視聴

◀ この動画の最初から再生する

↺ 10秒巻き戻す


1 介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント

本科目の習得目標

- 介護保険上のサービス内容を説明できる（知識、技術、態度）
- 介護保険上のサービス内容のケアマネジメントを実施できる。（知識、技術、態度）
- 介護保険上のサービス内容を地域で指導できる（知識、技術、態度）

説明、実施のポイント = 指導ポイント

©Japan Care Manager Association 2



再生の途中で
「この動画の最初から再生する」
「10秒巻き戻す」ことが可能です。

戻る

動画は早送り再生できません。

一時停止はできますがブラウザを閉じたりすると冒頭からの再生になります。

1本20～40分程度に分割しております。（例：120分の講義は20～30分動画×4～5本）

トラブルを回避するためにも、視聴完了してから休憩等をするをお勧めします。

視聴完了登録



ログアウト

動画視聴

◀ この動画の最初から再生する

↺ 10秒巻き戻す

8-2 独自研修2

1 介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント

動画視聴お疲れさまでした。
ボタンをクリックして視聴完了登録をしてください。

クリックして視聴完了を登録

視聴完了

再生時間 29秒 (配信期間 2024/03/27~2024/03/27)

戻る

動画が終了したら必ず視聴完了をクリックしてください。
視聴完了をクリックして登録をしないと、完了となりません。



視聴完了



動画視聴

1 介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント

動画の視聴が完了しました。

次の動画を視聴する

※必ずご視聴ください

視聴期間最終日23:59までに
視聴完了すること！

視聴完了の登録をするとページが遷移します。
このページへの遷移をもって視聴完了チェック画面に反映されます。
複数の動画がある場合は続けて視聴できます。

こんな時は・・・

- ▶ 動画がスムーズに再生できない
- ▶ 完了ボタンが押せない
- ▶ 完了ボタンを押すと日本協会のホームページになる

➡以下を確認してみましょう

★ インターネット接続は有線LANですか？

(なるべく無線LAN (WI-FI) ではなく、有線LANで繋ぐことを推奨します。)

★ パソコンのOSのアップデートはお済みですか？

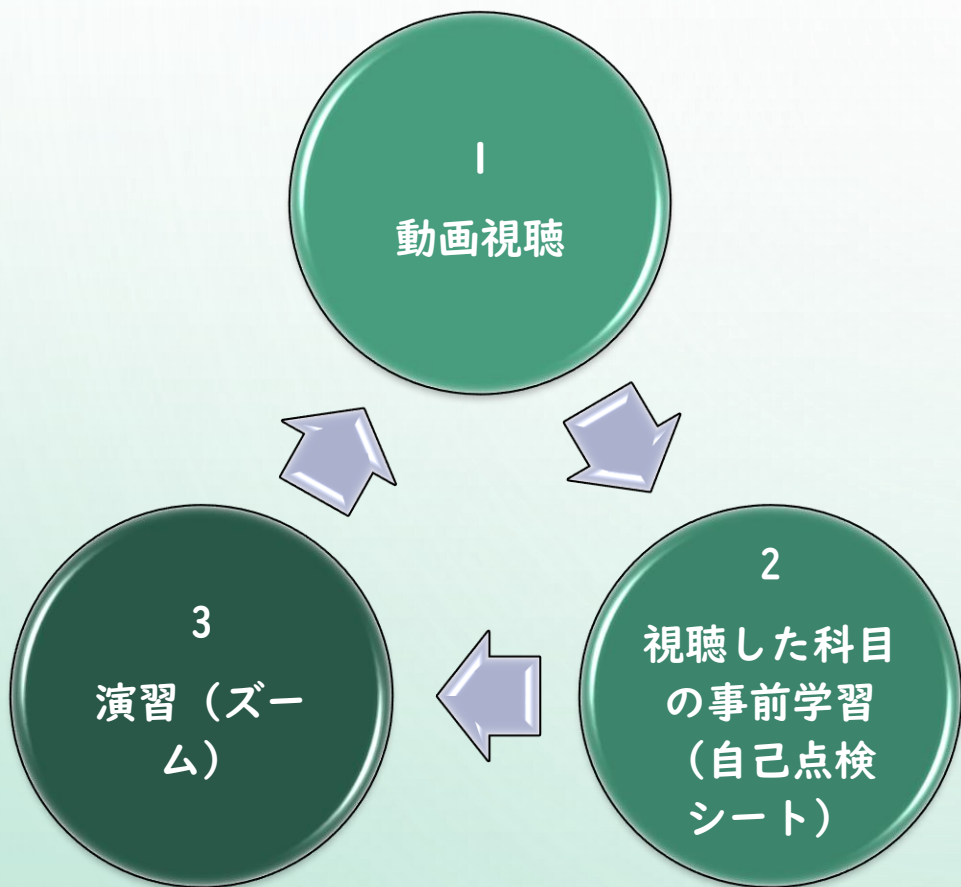
(パソコンは最新の状態にしておきましょう)

★ 使用するWEBブラウザ (クローム、サファリ、エッジなど) は、「グーグルクローム」を推奨しています。



自己点検シートについて その1 (演習に入る前の事前学習)

つまり、宿題です・・・



例えば。。。B日程9月25日～10月16日
の場合

動画No.1～No.3 講義動画視聴完了

動画No.4 「①生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント」動画視聴完了



「①生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント」自己点検シートの記載



動画No.5 「②脳血管疾患のある方のケアマネジメント」動画視聴完了



「②脳血管疾患のある方のケアマネジメント」自己点検シート記載



B日程10月17日 ズーム演習

自己点検シートについて その2 (演習に入る前の事前学習)

つまり、宿題です・・・

第4章-1 (動画No.4) 「生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント」

提出した3事例のうち、発表事例以外の2事例のどちらかひとつを点検する

例えば Aさん

提出事例：「脳血管疾患のある方のケアマネジメント」
「大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント」
「心疾患のある方のケアマネジメント」



発表事例：「脳血管疾患のある方のケアマネジメント」に決定



「生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント」で点検する事例
「大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント」または「心疾患のある方のケアマネジメント」
どちらからひとつを自分で決める



提出した「心疾患のある方のケアマネジメント」事例を自己点検！

自己点検シートについて その3 (演習に入る前の事前学習)

つまり、宿題です・・・

第4章-1 (動画No.5) 「脳血管疾患のある方のケアマネジメント」以降の科目

事例発表の科目

- ▶ 発表事例を自己点検

事例発表以外の科目

- ▶ これまでの実務の中で担当したことがある該当科目事例を自己点検
※提出事例に限らない！

※ どうしても自己点検する事例がないなどの事情があるときは事務局に相談

自己点検シートについて その4 (演習に入る前の事前学習)

つまり、宿題です・・・

- 第4章-1 (動画No.5) 「脳血管疾患のある方のケアマネジメント」
- 第4章-4 (動画No.7) 「大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント」
- 第4章-5 (動画No.8) 「心疾患のある方のケアマネジメント」

事例の時期により、**I期・II期**があります

脳血管疾患のある
方のケアマネジメ
ント

テキストP162～166

大腿骨頸部骨折の
ある方のケアマネ
ジメント

テキストP216～220

心疾患のある方の
ケアマネジメント

テキストP237～244

講義内容・テキストなどを参考にI期・II期どちらかひとつを自己選択

自己点検シートについて その5 (演習に入る前の事前学習)

つまり、宿題です・・・

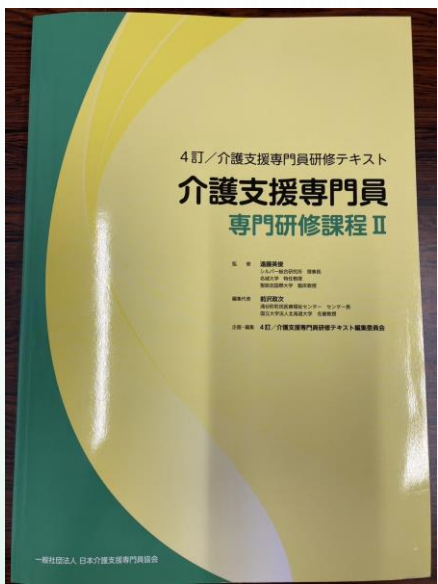
(参考)

日本総研・「適切なケアマネジメント手法」に関する事業成果物
(<https://www.jri.co.jp/service/special/content11/corner113/caremanagement/04/>)

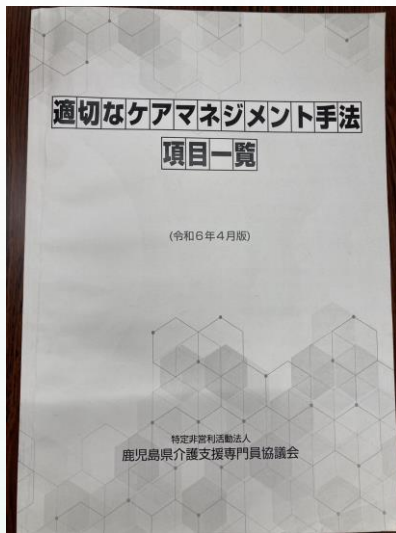
- 令和2年度 適切なケアマネジメント手法 基本ケア及び疾患別ケア 令和2年度改訂版 (PDF)
- 適切なケアマネジメント手法の手引きと関連動画

ズーム演習当日に準備しておくもの その1

項目一覧



テキスト



※A日程10/1.B日程11/7 「看取り等における看護サービスの活用に関する事例」「家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント」は、別紙に項目一覧あり

項目一覧 (看取り等における看護サービスの活用に関するケアマネジメント)

項目	大項目	中項目	小項目	対応状況	対応状況	対応状況	対応状況
1 看取り等における看護サービスの活用に関する事例	1-1 看取り等における看護サービスの活用に関する事例	1-1-1 看取り等における看護サービスの活用に関する事例	1-1-1-1 看取り等における看護サービスの活用に関する事例	○	○	○	○
			1-1-1-2 看取り等における看護サービスの活用に関する事例	○	○	○	○
			1-1-1-3 看取り等における看護サービスの活用に関する事例	○	○	○	○
			1-1-1-4 看取り等における看護サービスの活用に関する事例	○	○	○	○
			1-1-1-5 看取り等における看護サービスの活用に関する事例	○	○	○	○
			1-1-1-6 看取り等における看護サービスの活用に関する事例	○	○	○	○
			1-1-1-7 看取り等における看護サービスの活用に関する事例	○	○	○	○
			1-1-1-8 看取り等における看護サービスの活用に関する事例	○	○	○	○
			1-1-1-9 看取り等における看護サービスの活用に関する事例	○	○	○	○
			1-1-1-10 看取り等における看護サービスの活用に関する事例	○	○	○	○
2 家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	2-1 家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	2-1-1 家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	2-1-1-1 家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	○	○	○	○
			2-1-1-2 家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	○	○	○	○
			2-1-1-3 家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	○	○	○	○
			2-1-1-4 家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	○	○	○	○
			2-1-1-5 家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	○	○	○	○
			2-1-1-6 家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	○	○	○	○
			2-1-1-7 家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	○	○	○	○
			2-1-1-8 家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	○	○	○	○
			2-1-1-9 家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	○	○	○	○
			2-1-1-10 家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	○	○	○	○

自己点検シート

※事前学習を済ませた該当科目のもの

演習シート

※「生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント」・「その他科目」2種類あります

ズーム演習当日に準備しておくもの その2

事例発表者

その1に加えて・・・

パソコンに準備

発表事例:様式1

事例発表者		科目名 ()	
事業所名		ケアマネ氏名	
利用者名 (匿名イニシャル)	性別	年齢	要介護度
日常生活自立度	認知症自立度	収入	過去病歴
事例のタイトル			
主訴 困りごと			
(生活歴)	(既往症・現病歴)	(主訴経歴・内容)	
		【家族状況】シェングラム	
事例概要 (支援経過・具体的内容)			
事例を振り返り参加者に共有・相談したいこと・課題等			

手元に準備

- ②課題分析(アセスメントシート)
- ③サービス計画書
- ④担当者会議の要点
- ⑤支援経過記録
- ⑥モニタリング記録

ズーム操作方法・留意事項はマニュアルを参照

動画配信システム



鹿児島県介護支援専門員協議会ホームページ
▶ 法定研修関連 ▶ [動画配信受講マニュアル](#)

ズーム



鹿児島県介護支援専門員協議会ホームページ
▶ 法定研修関連 ▶ [ズーム受講マニュアル](#)

ホームページ



[HTTPS://KAKEN-
CM.ORG/](https://kaken-cm.org/)



ズーム入室する前に・・・事例発表者

- ① 発表事例（様式1）のエクセル（PDF等でも可）を開く
- ② 様式1のエクセル（PDF等でも可）を開いたままズームを立ち上げ入室する

（様式1）事例概要		科目名（				）	
事業所名		ケアマネ氏名					
利用者名 （匿名イニシャル）	性別	年齢	要介護度				
日常生活自立度	認知症自立度	収入	志望職				
事例のタイトル							
主 訴 困りごと							
（生活歴）				（既往歴・現病歴）		【主幹者意見・内服内容】	
						【家族状況】ジェノグラム	
事例概要（支援経過・具体的内容）							
事例を振り返り参加者に共有・相談したいこと・課題等							

ズーム入室

- ズームID・パスコードは本日と同じ
- 名前表記は「グループ番号 フルネーム」
例：「1 介護太郎」
- 音声はミュートで待機
- 8:45までには入室

入室してから研修開始までに確認してほしいこと

- スピーカーとマイクのテスト
- ビデオカメラの確認
画面中央に顔が入っているか
逆光などで画面が暗くなっていないか等

安定したズーム演習を行うために

- 無線LAN（WiFi等）でも受講可能ですが、できるだけ有線LANでの受講をお勧めします。
- パソコンやズームアプリの更新は必ず済ませ、最新の状態にしてください。
- デバイスは原則パソコンでの受講をお願いしていますが、急な機材トラブルや通信環境の不具合等により復旧に時間がかかる場合などに限り、スマートフォンでの受講を認める場合があります。
トラブル時の一時的な対策として、スマートフォンにズームアプリをダウンロードしておくことをお勧めします。

最後に・・・お願い

○受講管理システムに登録をしてあるメールアドレスにメール配信をしています。

時々メールの確認をしてください。

○問い合わせの電話をするときは、最初に事業所名と名前をお伝えください

○機材や通信状態のトラブル、急な体調不良等も十分想定されますので、動画視聴や課題などは、なるべく早めにお済ませください

○大変暑い日が続くので、体調管理はしっかりと自己管理をしてください。